



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840

TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB

Symphony Weekly



世界へのプレゼントになろう

K.R. ラビンドラン 2015-16年度R1会長

No. 6

会 長 手 島 均
 幹 事 島 崎 真 澄
 クラブ会報委員長 高 橋 栄 江
 第 3 週 2015年 8月21日 (金)
 例 会 毎週金曜日 12時30分
 例 会 場 ホワイトイン高崎
 事 務 所 高崎市本町144-1

光明第7ビル202号室
 T E L 027-328-3371
 F A X 027-328-3372
<http://www.takasakisympathy-rc.org>
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 浅見 洋子
 本日のプログラム ゲスト卓話
 高崎公証人合同役場
 中澤 三男氏
 ロータリーソング 手に手つないで

- ・御誕生日祝
 小林 馨君
 発地富士雄君
- ・結婚記念日祝
 船渡川信幸君
 泉 省平君
- ・ニコニコBOX
 橋爪 健君 (4月の御誕生日として)
 手島 均君 (暑中お見舞い申し上げます)
 西園 勲君 (暑さに負けずニコ)
 三浦 敦朗君 (1週間マレーシアでのんびりしてきたのですが、なぜかとてもおつかれです)
 白石 隆夫君 (暑中お見舞い申し上げます)
 小林 馨君 (御誕生日祝)
 船渡川信幸君 (結婚記念日祝)
- ・ロータリー財団BOX
 飯島 芳臣君 豊泉 君代君
 浦野 幸男君 長井 典夫君
 林 章君
- ・米山奨学会BOX
 飯島 芳臣君 八木建司朗君
 宮田 正枝君

第 893 回例会報告

第1週 8月7日 (金)

御来訪者 1名
 米山奨学生 ゲンティー ヴァン アンさん
 出席報告

会 員 数	39 名
出席計算人数	39 名
本日出席者	27 名
本日出席率	69.23%
先々週出席率	84.62%

幹事報告

- ・例会変更
- ・特別月間 (8月) 名称変更のご案内 (国際ロータリー日本事務局)
- ・ガバナー事務所夏期休暇のお知らせ
- ・高崎市国際交流協会会報誌

委員会報告

- ・親睦委員会
 納涼夜間例会多数ご出席いただきますようよろしくお願ひ申し上げます

理事会報告

- ・新会員入会の件
- ・会員退会の意向について
- ・卓話者の件
 8月21日 公証人 中澤氏
 9月18日 折田慶太会員によるマイナー講座
- ・サークル活動承認の件
- ・未来の夢計画の件

次回例会予告

第4週 8月28日 (金)
 納涼夜間例会
 会場 ニューサンピア
 点鐘 18:30



原発再稼働は認められない

小野垣義男

福島第一原発事故では広島原爆の約168倍のセシウム137を放出したと言われている（経済産業省原子力安全保安院）。其の他の放射能も含め、我が国のみならず世界中に、それを拡散してしまった。チェルノブイリやスリーマイル島原発事故も、世界中に放射性物質を漏洩してきた。2000回以上の核実験が大気圏内や地上、地下で行われ、この地球は人類が製造した放射能で汚染されてしまった。

核兵器も原子力発電も、人間が制御できるものではなかった。原子力の平和利用だからと、反対する者は少なかったが原発には多くの問題があったのだ。使用済み核燃料の廃棄物の処理に何万年、何十万年とかかり、それを露出しないように厳重に密閉しなければならない。

現在、全世界には原発が400基以上あり（アメリカ104基、フランス59基）それが、2030年には800基以上に倍増するだろうと言われている。世界中では原発事故が、いつ起きてもおかしくない。万一、テロリストが原発を襲ったら、重大な惨事が起きることも想定できる。日本でも54基の原発があり、広島原爆の120万発分の使用済み核燃料が、この国に残存しており、その行き場さえ失っている。

原発は安価だからと言われるが、十分な事故対策を考えた建設だけでも莫大な金額が必要であり、事故が起きたら想定さえできない額になってしまう。福島第一原発の賠償額だけでも、優に6兆円は超えてしまい、安価など何処にもない。更に、広大な土地の除染や農畜産物の被害額は計り知

れない。福島では人の住めない避難区域が東京都の面積の半分近くあり、長期避難者は現在でも11万2千人（福島県庁災害対策課）と言われている。いかに被災地の人々に、過酷な生活を強いているか計り知れない。福島の人々の人権だけでなく存在さえ脅かしている。

其れなのに、政府や経済界は2030年には電源構成の20～22%を原子力でまかなうと発表している。ドイツもイタリアも原発中止を決定している。今こそ、我が国も代替えエネルギーの開発に専念すべき時なのに、いまだに原発を推し進めようとしている。

悲惨な核の被害を2度3度と受けてきた此の国が、なぜそれを廃止できないのか。現在ある原発を稼働させることが安価だと言うのだろうが、処理に苦渋する核燃料廃棄物を我々の子孫やこの地球に残す暴挙だけでも、どう考えているのだろうか。それは、何処までも経済成長しか考えられない資本主義の性なのだろうか。

さらに危惧することは、原発を稼働していれば容易に原爆を保有できるとの考えが根底にあることである。現在、日本には使用済み核燃料からできたプルトニウムが、48トンも保有されている（その一部は英国、フランスに処理を頼んで預かっている）。この使用済み核燃料から出るプルトニウムを、さらに精製すれば（90%以上）簡単にプルトニウム核爆弾（長崎型原爆）が作れる。勿論、現在、原発に利用しているウラン（広島型原爆）からも、同じように原爆は製造できる。流石、政治家はそのことは公然とは口には出していないが、暗黙の内に、いつでも核保有国になれるとの確固たる思念を持っている。

この国の未来や地球の未来を、今の政治家や企業家だけに任せるわけにはゆかない。我々、一人ひとりが声を上げてゆくしかない。